



幸せを探しているあなたに

孤独

私はなぜ確信がないのか

現代人は、みんな同じように「孤独」という病気をわずらっています。その結果、うつ病と自殺は継続して増えていっています。スタンフォード大学のチンバルド教授は「孤独ほど怖い殺人者を見たことはない」と話しました。最近、日本では最も好感が持てる女優として選ばれた大原麗子の孤独な死をめぐって「孤独死」が深刻な社会問題として台頭しました。「遺品整理会社」という新種の業種まで誕生するまでになり、自分が死ねば遺品を整理してくれという「事前予約」も増加しているということです。幼いころから絶えず希望を抱いて走り続けた人生が、なぜ、ある日突然、おそろしい孤独に襲われて、孤独な死を迎えることが増えているのでしょうか。教会に通っている人々の中にも「私には確信がない」と言って、占いの店をのぞき込む教会の信徒が30%にもなるという統計が出ています。そして、話はしなくても、未来に対する不安の中で、確信なく生きていく人々はさらに多いのです。ですから、社会にはさまよう姿と逸脱行動があふれるしかありません。なぜこのように生きていかなければならないのでしょうか。教会に通っている人まで、なぜ確信なくさまようのでしょうか。

この解答を私たちは必ず見つけ出さなければなりません。未信者は言うまでもないのですが、信徒がイエス・キリストを受け入れたあと、教会に通いながらも、救われた者の身分と権威に対する確信がないので、さまよいながら不信仰に陥る場合がたくさんあります。永遠のいのちとは、唯一な真の神様と、その方が送られた方であるイエス・キリストを知ることだと言われています。ところが、自分の中に内住しておられる主を正しく知ることができず、確信に立つことができないならば、サタンは絶えず私たちを不信と挫折に陥るよう追い込むでしょう。もう私たちは神様を知る知識に満たされて、学んで確信したことにとどまるべきです。イエス・キリストを心で信じて、口と認めて受け入れた者には、自分の能力とは関係なく、その中に聖霊が内住され、導いて治めてくださいます。これが、救われた者のいのちです。神様の息子が(イエス キリスト)ある者にはいのちがあって、神様の息子がいない者にはいのちがないとおっしゃいました。私たちはこの事実には確信を持って「私は神様の子どもだ」という堂々

とした姿を神様と、サタンと、世の中の前にはっきりと表わさなければなりません。

そして、救われた者、すなわち、キリスト・イエスの中にある者は決して罪に定められることはありません。これ以上、原罪と自分が犯す罪と先祖の罪が私たちを縛ることはできません。私たちはイエス・キリストによって完全に解放されました。ひょっとして、罪の意識で苦しんでいますか。もう自由になってください。それは、あなたではなく、サタンが与えることです。サタンの権威に勝って、すべての罪の問題を十字架で一気に解決されたイエス・キリストの御名でサタンを縛ってはねのけてください。主が私たちにくださった権威を使ってください。口を開いて確信をもってイエス・キリストの権威を宣言してください。神様はあなたを愛して、尊く思われています。神様は私たちに聖霊を送ってくださって、神様の子どもに確定して下さり、サタンを縛る子どもとしての権威と、祈りの答えの特権を与えられ、世界福音化の祝福を与えてくださいました。

信仰生活は簡単です。神様がともにおられるから、聖霊の導きを受ければ勝利します。たとえ失敗をしても、聖霊の導きを受ければ、驚くべき結果が出てきます。あなたの人生の主人は神様です。今までいつも一人で心配して、対策をたてて努力していたならば、これからすべての心配を祈りの課題に変えて、あなたの人生の責任を負ってくださる聖霊の導きを受ければ良いのです。本当に幸せな一日一日があなたを待っているでしょう。

孤独

未来を生かす道

次世代問題はすなわち未来の問題です 地球上の人々が戦争より自殺でさらに多く死ぬことが明らかになりました。特に、青少年の自殺の増加は全世界的な問題として UN でも未来問題は青少年問題であることを認めました。韓国の青少年政策研究員の調査に(2005年)よれば、家庭崩壊、学業中断、家出、暴力、性的暴行、犯罪、自殺などの複合的な問題を持った「**高危機群青少年**」が42万人に達しています。また、そのまま放置する場合「**高危機群青少年**」に移転する可能性がある「**中危機群青少年**」の数も126万人だと推定されています。これは韓国の危機青少年の数が170万人に達するという意味です。これは青少年人口の21.3%に該当する数値で、5人中1人が危険に直面しているという意味です。一方、2008年一年間で、警察に正式に失踪申告された家出青少年の数は1万5,337人で(政府が推測した家出青少年は2万3,000人あまり)毎年3,000人が増加する傾向です。2008年一年の学業中断者(中退生)は3万2,000人あまりで、政府統計で捕えた学校の外の青少年の数だけで7万人あまりに達すると言われています。彼らの大部分がリハビリの機会を持ってない再落伍者で、社会に編入されて無気力と自暴自棄という絶望感の中で、自殺と犯罪者に転落する場合がどんどんより多くなっている傾向だと言われています。

時代を生かす方法は、次世代を生かすことです。 聖書を見れば、イスラエルの深刻な苦難と滅亡の中で神様がくださった解答は、次世代(レムナント)を生かすことでした。より大きい困難がきて、次世代(レムナント)は残ると言われました。それで、次世代を生かす者にすべてのことをくださると約束されました。福音とみことば回復、神様の時刻表、世界を生かす宣教を約束されました。過去にイスラエルが持っていた出エジプトの栄光、ミツパ運動の栄光、ダビデによって回復した正しい神殿の回復、エリシャによって回復した過去の**レムナント運動(RUTC運動)**を回復されるという約束です。これがまさに未来の事を回復する道です。神様がみずから事を行うと約束してくださいました。キリストを通して次世代を生かして、未来を生かされるという約束が含まれています。それで、重職者の胸に**レムナント運動(RUTC回復)**を留めれば、神様は皆さんのすべての生活を神様の御手に留めてくださるでしょう。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どものお五つの確信

- 1 救いの確信:** イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 2 祈り答えの確信:** 神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信:** 神様は聖霊であなたの中に、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 赦しの確信:** あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信:** 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どものお毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できま

すように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

人生の危機の中でのターニングポイント

私は神棚をまつりながら2個の寺まで誠意をもって仕える父と、力がある新興宗教にはまって追いかける母の間で育ちました。分からない霊的な混乱が私の幼い時期を支配していたようです。それで、私は両親とは違うように生きたかったのです。世の中を学問的に解釈しようとして、神やたましいではない人間中心のヒューマニズムの中に陥りました。両親に私の人生が正しいことを証明したくて、より一層、反抗する道に入りました。いつも私には両親の助けでなく、私の力で成功するという自信がいっぱい満ちていました。それで、私は高等学校を卒業する日だけを待っていました。両親は、私が卒業をするやいなや、待っていたというように離婚をして、私は自分の人生の独立を宣言しながら未来に向かった自信に浮き立っていました。

大学に入った後、私は音楽にはまるようになりしました。私の内面を世の中に表わす通路が音楽だったのでした。私は日本ジャズピアノの第一人者である山下洋輔のバンドでデビューするほど、音楽的才能を認められました。それ以後、実際にヘビメタルレコードを出したりもして、大学卒業後の5年間は、ロックバンド活動などをして、音楽をさらに学ぶために、私の人生をさらに価値あるように暮らすために、ニューヨークに発ちました。アメリカで持った音楽に対する情熱、ニューヨークにいた時に感じた音楽に対する熱い情熱は、再び戻ってきた日本の経済不況という現実の中で消えて行きました。燃え上がる情熱とは反対に、毎日毎日生計のために金をもうけなければならないだけの現実...その時に感じた挫折感は、本当に人生の中で最悪でした。自分の人生はどん底に落ちていました。結局、何かをして食べて生きなければならなかったのです、お金になることならば、何でもしました。酒場のパーテンダーと客引き、はなはだしくはポルノ撮影のための女を探してくることでしながら、路上をさまざたりもしました。私が考えてきた人生、私が思ってきた遠大な私の人生の夢はこれではないという考えが、どっと私に襲いかかってきました。本当にただ一つでも正しくできることがなかったのです。「人生なるよ

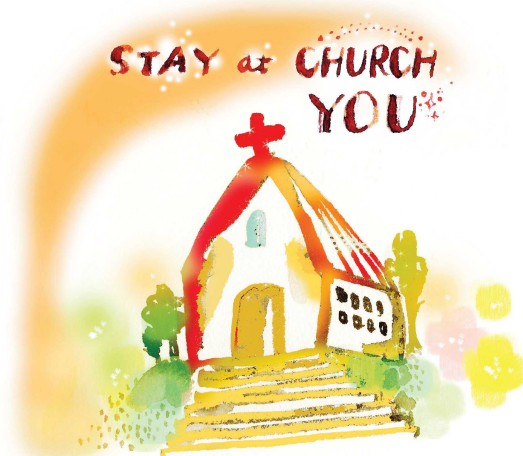
うになれ。何をするとしても、今よりもっとするのだろうか」人生を自暴自棄になったまま、一日一日を持ちこたえていました。

そのようなある日、私がダイエットお薬を売っていた時でした。路上ででっぷり太っていると思えるある女性に物を買ってくれと寄りつくようになって、物を少しでもさらに売ろうという考えで、その女性を追いかけて行った所がまさに教会でした。そちらで私は自分の人生で初めて福音という言葉聞くようになりました。福音を聞きながら、誠実に生きる人も原罪問題が解決されなければ深刻な問題にあうようになるということを知ることになりました。イエス・キリストを通して神様を会うのが単純な宗教を選択することではなく、霊的存在として人間を創造された創造主の神様とともにいるようになることだという事実を知ることになりました。本当にだれでも、霊的な問題を解決するためにこの世に来られたイエス・キリストに会うようになれば、運命という人間の限界は崩れるということを知ることになりました。

私はこのごろ、生活の中で出会いを通して神様が準備されたたましいがあるということを確認しています。エチオピアの神を拝んでいて深刻な霊的問題で麻薬までするようになった青少年に福音を伝えたりもして、悪霊、幻聴、幻覚に苦しめられる同僚の職員が福音を分かった後、神様の子どもになって説明できない平安を持つようになったのを見ました。15年間、福音を話しながら、私が若かった時に体験した困難を絶対に次世代が受けないようにするために、文化センターを立てて、霊的に助ける者になることを祈ります。しかし、私は知っています。私自身が本当に霊的な問題が多い者で、人間として足りないことを。しかし、まったき神様は、このような私をご自身のみことばで癒してくださいということも知っています。そして、今は本当に知っているといます。神様とともにいる人生が、どんな人生よりも最も幸せで価値ある人生であるということ...

日本 東京で ウエノヒロキ(43)

教会を 近づけてください



イラスト_ユン・スルギ

アメリカは自由な国なので、すべてのことを開放して、個人中心の実用的生活を送っていると見やすいが、その裏面では、私的な生活を国家が管理監督したりもする難しい国だ。

韓国では、子どもたちの生活の世話をしなければ悪い親と口だけで言うが、アメリカでは、その子どもを国家が奪っていく。能力がない親から子どもを分離させるのだ。私たちは、生活の中で茶飯事しているが、公式に12歳以下の子どもが家で成人がいずに一人であるようにすれば、法に抵触するという。それで、彼らは子どもとともにいる時間を公然と持つ。韓国の親がわざわざ時間をあけて子どもたちとともにする時間は、おそらく子どもの日や盆・正月くらいでないかと思う。しかし、彼らは公然と子どもと一緒にする時間が多く、私たちは理解ができないが、わざわざそのような時間を作ったりもする。いつか、オバマ・アメリカ大統領の日程にミッシェル夫人が同行しなかったが、それは子どもたちと遊ぶ時間を持つためだったということだ。韓国ならば、いらぬ行動だと言われるが、彼らには家庭より、子どもより優先するものはないという重要な事実を見せることだと言えるが、それを Stay-at-home-Mom あるいは Stay-at-home-Dad と言う。

教会に対して否定的な見解を持っている人々が時々いることがある。教会が大型化されて墮落して大衆の要求を聞き入れることができないという当然の声だ。しかし、教会はこの世に存在する多くの建物の中で、唯一、霊的な事実を世の中に知らせる機関だ。もちろん、いろいろな宗教施設や町の周辺の占い師や霊媒師の家が近く感じられることが、霊的関係だと見やすいが、正確に話せば、そこで真の人生の解答を得ることは難しいことでなく不可能だ。

人生は単純だが、解決できない根源的な問題、すなわち神様を離れた問題を抱いている。やさしくて簡単に話せる、こういう霊的事実を正確に診断して、たったの一言で解答を提示する所は福音を持った教会だけだ。道を説明することを宗教とって、道自体と表現するのを福音と言い、足りない姿をしている教会であっても、教会は神様に行く道を持っている地上の唯一の現場だ。たとえ自動車が古くておかしな音がするとしても、行こうとする目的地が同じであるならば、乗って行ける。教会の本質は、罪人を天国に移送する検察の車ではなく、罪人を解放して祝うパレードカーだ。

待ってくれない子どもたちのための、両親の配慮は、子どもたちに一生忘れることのできない思い出を作ってやるが、短い時間でも一緒にしてやることもできない結果の裏面に、多くの犯罪者の未来が見えるのだ。教会は、もしかしたらこの世で傷ついて、苦しんでいるあなたのための神様の避難所として存在していると思えば正しい。何の理由もなく受ける貴重な贈り物が教会だとすれば、周辺に教会を近く置かなければならない。年をとる時に良い医師と会計士を友だちとするように、人生で Stay-at-church-You として、教会を近づけてこそ、この世の永遠の価値を得るようになる。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

*相談したい方はこちらまでどうぞ